

2階

地域密着型サービス自己評価票（網掛け部分は外部評価も行う調査項目） 取り組んでいきたい項目には「1」が入っています。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
			理念に基づく運営 1～5 (自己 1～24・外部 1～14)	自己評価24項目・外部評価14項目	9	
理念に基づく運営	1		理念の共有(自己 1～3・外部 1～2)	自己評価3項目・外部評価2項目	2	
		1	地域密着型サービスとしての理念【外部評価】 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「私たちは、入居者と共に地域社会の一員として、生活できるよう努めます。」という理念を元に管理者、職員一同になり利用者の支援を行っている。	1	日常的にボランティアや実習生の受け入れ、近隣住民との食事や演芸を行っており入居者が様々な方と付き合えるよう支援している。
		2	理念の共有と日々の取り組み【外部評価】 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	苑内に掲示しいつでも確認できるようにしている。また、会議等では全員で復唱し理念の共有に努めている。その他に、採用時に理念の説明を行い職員全員が同じ方向性を持って介護できるように取り組んでいる。	0	
		3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	苑内に理念を掲示しいつでも確認できるようにしている。また、入苑時には家族に理念の説明を行い、どのような方向性を持った介護を行っているのか理解できるように取り組んでいる。	1	家族への理念の理解は得ているが、地域の人々へどのように理念を理解してもらえるか検討していきたい。
		2	2 地域との支え合い(自己 4～6・外部 3)	自己評価3項目・外部評価1項目	0	
		4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩や日光浴を行い日常的に顔なじみになっており時には庭に実っている柿をもらったり花を見せてもらっている。	0	
	5	地域とのつきあい【外部評価・重点】 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	行事を行う際は必ず地域の方と一緒にっており、地域の夏祭りや運動会には利用者と一緒に参加し地域交流に努めている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	2 支地 え域 合と いの	6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域の高齢者やその家族の会合などに出向き、施設のあり方やその利用方法など相談を受けたりアドバイスを送っている。	0	
		3	理念を実践するための制度の理解と活用(自己 7~11・外部 4~7)	自己評価5項目・外部評価4項目	0	
	3 理念を 実践す るため の制度 の理解 と活用	7 外部 評価 4	評価の意義の理解と活用【外部評価・重点】 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価により、もう一度振り返り自己評価を行う事ができており、取り組みの事実を具体化し改善できるところを積極的に改善している。	0	
		8 外部 評価 5	運営推進会議を活かした取り組み【外部評価・重点】 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	市役所、地域、家族、民生委員、利用者等の方々と2ヶ月に1回運営推進会議を行っている。会議には入居者が交代で出席されておりここでの意見を参考にケアや行事などのサービス向上に努めている。	0	
		9 外部 評価 6	市町村との連携【外部評価・重点】 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市役所の研修に参加したり、分からない事は積極的に担当者に指導を仰ぎケアやサービスの質の向上に努めている。	0	
		10 外部 評価 7	権利擁護に関する制度の理解と活用【外部評価・追加】 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	積極的に研修に参加し学ぶ機会を作っている。また、研修を受けた職員は実習報告を行い他職員と知識を共有することにより相談があればいつでも対応できる体制をとっている。	0	
		11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止関連の研修に参加し、実習報告を行う事で知識の共有に努めている。また、利用者の精神状態や身体の変化を注意深く観察している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
		4	理念を実践するための体制(自己 12~18・外部 8~10)	自己評価7項目・外部評価3項目	4	
理念に基づく運営		12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約には分かりやすい言葉で説明を行い、よく理解していただけるよう心掛けている。またいつでも相談に応じる旨を伝え納得されてから署名・捺印をしていただいている。	0	
		13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居者との会話の中で何か苦情や不満が無いか確認している。	1	苦情等があった時は記録に残し職員で話し合い対応している。
	4	14	家族等への報告【外部評価・重点】 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	来苑時には職員は必ず近況報告を行っている。また、その際連絡ノートを渡し苦情が無いが、また入居者に変わった事は無いか知らせている。	1	連絡ノートには職員からの近況報告やDrからの連絡事項などを記入するようにしている。また、家族から直接言いにくい苦情や疑問等を記入して頂けるようお願いしている。
	理念を 実践 する ため の 体制	15	運営に関する家族等意見の反映【外部評価・重点】 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苑内に苦情箱の設置と市役所の相談窓口の連絡先を掲示している。今現在、苦情箱への苦情はなし。	0	
		16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	常日頃から会話に努めており、一人の意見も皆で考えるようにしている。	1	出来る限り職員の意見を取り入れより良い運営が出来るよう努めている。
		17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	早出、日勤、遅出、夜勤と必要な時間帯に職員を確保している。また、臨機応変に必要な時は人数を増やし対応している。	1	毎月の誕生会やその他のイベント時には職員を増やし対応している。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	4	18	職員の異動等による影響への配慮【外部評価】 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の移動は必要最小限に抑えており、移動になった場合でも引き継ぎをしっかりと行い、全員が同じ介護が出来るよう取り組んでいる。	0	
	5	人材の育成と支援(自己 19~24・外部 11~14)		自己評価 6 項目・外部評価 4 項目	3	
	5	19	人権の尊重【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	採用にあたっては本人とよく話し合い、やる気のある人を採用している。また当苑で働く職員についてはその能力に合わせお互いの得意分野を中心に皆でカバーしあっている。	0	
		20	人権教育・啓発活動【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	入社時にオリエンテーションを行い、入居者に対する考え方やその方々の人権についてしっかりと教育を行っている。	1	入居者に対する態度には特に気をつけて対応するよう指導している。
		21	職員を育てる取り組み【外部評価】 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画を立て、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	介護するに当たって一つ一つ段階に合わせ指導している。また、研修にも積極的に参加し介護の質の向上に努めている。	1	入居者一人一人に合わせた介護のやり方をじっくりと指導している。
		22	同業者との交流を通じた向上【外部評価】 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	頻繁に電話での情報交換や施設見学を行い、良いところは積極的に取り込みサービスの質の向上に努めている。	0	
		23	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員の希望の休みや勤務を出来るだけ取り入れたり、仕事についても本人の希望を聞き働きやすい環境になるよう努めている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
	5 と人 支材 援の 育成	24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	当苑では積極的に資格の取得の支援に努めており、職員各々が資格取得に向け向上心をもって働けるよう支援している。	1	現在ほとんどの職員が将来的に介護福祉士や介護支援専門員の資格所得を目指している。
安心と信頼に向けた関係作りと支援 1～2(自己 25～34・外部 15～16)				自己評価10項目・外部評価2項目	2	
安心と信頼に向けた関係作りと支援	1	相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 (自己 25～28・外部 15)		自己評価4項目・外部評価1項目	1	
	1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談時に本人と話し合いを行う機会がある時はしっかりとコミュニケーションをとり本人が何を求めているのかを考え受け止めている。	0	
		26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	面談や施設見学を行い何に困っているのか、また、それは当苑を利用する事で解消されるのかを家族と一緒に考えている。	0	
		27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	様々な相談がくるので話をよく聞きその時々に応じた対応に努めている。	1	他サービスが適切と思われるときは、他施設の紹介等を行っている。
		28 外部評価15	馴染みながらのサービス利用【外部評価】 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	体験入居を行っており不安な方はまず体験入居から行っている。また、その際家族の方も一緒に食事を食べる事が出来るのでしっかりと馴染んでからサービスを開始する事が出来る。	0	
	2	新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 (自己評価 29～34・外部評価 16)		自己評価6項目・外部評価1項目	1	
係り2 係り2 継続 への 支援 の 関 係 づ く り の 支 援	29 外部評価16	本人と共に過ごし支えあう関係【外部評価】 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	入居者から学ぶ事は多々あり、職員も介護をするだけの一方通行な立場ではなく色々な事を経験しながら介護に取り組んでいる。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係作りと支援	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	入居者が不安そうにされていたり家族と会いたいののではないかと思われる時は家族に連絡し面会にきてもらっている。また、介護計画作成に当たって家族の意見も取り入れ一緒に入居者を支えていけるよう努めている。	0	
		31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人と家族がゆっくりと会話できるように部屋の環境作りや場所の提供を行い良い環境で楽しんでもらえるよう支援している。	1	遠方から見えた家族やあまり面会に来る事の出来ない家族には一緒に食事をしてもらうようお願いしている。
		32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	誕生会や大きな行事の時は友人にも連絡をとり、一緒に参加してもらえるように頼んでいる。また、空いた時間に外出を行っており馴染みの場所をドライブしたりしている。	0	
		33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者同士話をしやすい様に席を考える等の工夫をしている。また、相性の悪い入居者間ではトラブルを防ぐ為に職員も一緒に会話に参加している。	0	
		34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	現在までサービス終了後に継続的な関わりが必要な入居者はいないが悩み事などの相談は時折受けており、サービス終了後も良好な関係を築けている。また、今後関わりが必要な方が出てきた場合は丁寧に対応していく。	0	
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1～4 (自己 35～51・外部 17～22)				自己評価 17項目・外部評価 6項目	10	
	1	一人ひとりの把握(自己 35～37・外部 17)		自己評価 3項目・外部評価 1項目	0	
	1 の 一 把 人 握 ひ と り	35 外 部 評 価 17	思いや意向の把握【外部評価】 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	意思疎通の困難な入居者に対しては本人本位の考え方や家族からの情報収集を元によりよいサービスの提供に努めている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	1 一人ひとりの把握	36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に本人及び家族よりしっかりとアセスメントをとり生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	0	
		37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	毎日のコミュニケーションやアセスメント、朝・夕の申し送り等によって職員皆がしっかりと把握できるように取り組んでいる。	0	
	2	本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し (自己 38~40・外部 18~19)	自己評価3項目・外部評価2項目	1		
	2 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	38	チームでつくる利用者本位の介護計画【外部評価】 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	全職員が集まり担当会議を行っており、それを基に介護計画を作成している。	1	家族が面会に来られた時にしっかりと話をして家族の意向も聞くようにする。
		39	現状に即した介護計画の見直し【外部評価】 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月毎に見直しを行っているが急な状態変化や退院時、介護の更新等必要に応じて介護計画を見直ししている。	0	
		40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人ファイルに日々の様子を記録して、情報を皆で共有している。また、カンファレンス等に問題を取り上げ職員間で話し合い改善している。	0	
	3	多機能を活かした柔軟な支援(自己 41・外部 20)	自己評価1項目・外部評価1項目	0		
	3 した多機能な支援	41	事業所の多機能性を活かした支援【外部評価】 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	受診が困難な利用者には訪問診療にて健康管理を行っている。入院した場合は他入居者と頻りに面会に行き苑の馴染みの顔を見ることで安心されている。また、入居者家族の宿泊等の希望があれば受け入れるなど柔軟に対応している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4		本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 (自己 42~51・外部 21~22)	自己評価 10項目・外部評価 2項目	9	
		42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域の老人会や民生委員，ダンスやカラオケのボランティアの方々が遊びに来ていただき入居者にとって非常に良い刺激になっている。	1	誕生会等のイベント時以外でも気軽に顔を出してもらえるような施設作りを行っていく。
	4	43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	本人及び家族の意向に沿い他の施設のケアマネージャーと連携を取りつつ施設移動を支援した。	1	今後、他施設との転所、入居者が増えてくると思うので、地域のケアマネージャーとの密な連携を目指していく。
		44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	研修会や業務の中で本人の意向に沿ったケアマネジメントを協働している。	1	他地域の地域包括支援センターとの情報交換や協働を行っている。
		45	かかりつけ医の受診支援【外部評価】 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人の受診時における負担を軽減する為、往診医と連携、協力して苑内にて医療サービスが受けられるよう支援している。	1	本人や家族と話し合い、本人、家族の希望に沿った医療サービスが受けられるよう支援している。
		46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	希望があれば本人、家族に対し認知症の専門医療機関を紹介し送迎などの受診援助も行っている。	1	かかりつけ医と連携し専門病院への受診援助を行っている。
		47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	毎朝入居者の血圧、体温、顔色をよく観察し異常があれば看護職に報告し協力して支援している。	1	往診医療機関の看護職とは毎週入居者についての情報交換を図りサービスの質の向上に努めている。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	48	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入居者が入院した時は2日に1回はお見舞いに行き会話や洗濯物の交換を行っている。またその都度、病院関係者と情報交換を行い早期退院に向けた話し合いをおこなっている。	0	
		49 外部評価 22	重度化や終末期に向けた方針の共有【外部評価】 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	契約時に本人や家族と重度化、終末期のあり方について話し合いを持っている。また、その事を主治医や職員全員で共有している。	1	重度化及び終末期には家族の意向を再度確認し主治医と繰り返し連携し全員でケアの方針を共有している。
		50	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	本人の日々の状況を観察し、今後の対応等も家族、医者、事業所と検討し可能な限り家族、本人の意向に沿って対応をしている。	1	ターミナルケアを希望される入居者に関しては往診医と連絡を密に行い安心して最後まで過ごせるよう職員一丸となって支援に取り組んでいる。
		51	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	住み替え時等の環境の変化は入居者にとって大変な負担になりえるので、家族や本人と話し合いなるべく違和感なく住み替えが出来るよう努めている。	1	住み替え時には使い慣れた家具等を持参してもらい、住み替え前と変化の少ない部屋になるよう工夫している。
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1～2 (自己 52～89・外部 23～33)				自己評価38項目・外部評価11項目	7	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	1 その人らしい暮らしの支援 (1)～(5) (自己 52～81・外部 23～30)		自己評価30項目・外部評価9項目	6	
		1 外部評価 23	(1) 一人ひとり尊重(自己 52～54・外部 23～24)	自己評価3項目・外部評価2項目	0	
		52 外部評価 23	プライバシーの確保の徹底【外部評価】 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	入居者に対しての言葉かけや対応には十分に注意をはらっており、年長者としての尊厳を大事にしている。	0	
53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	本人がどうしたいのか、どんな希望なのかを常に把握し、小さな事でも気付いて声かけを行う事によって本人が納得できる支援を行っている。	0			

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	54 外部評価 24	日々のその人らしい暮らし【外部評価】 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人の生活パターンがある為、なるべく個人個人に合わせた支援を行っている。その為、朝食等は食べる時間が各利用者によって違うが一人一人に対応している。	0	
		(2)	その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (自己 55～60・外部 25～26)	自己評価 6 項目・外部評価 2 項目	3	
		55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	昔から着用している物や、好きな服など家族に持ってきてもらい着用している。また、その人らしい姿で過ごせるように努めている。また、理・美容については、本人が希望する場合は家族の協力のもとその理・美容院に行けるよう支援している。	0	
		56 外部評価 25	食事を楽しむことのできる支援【外部評価】 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	個人個人の能力に合わせて野菜の皮むきや食器拭き、味美など出来る限り入居者と一緒に行っている。また、入居者と職員と一緒に食事を食べているので食事について話し合いも行っている。	1	以前に比べお手伝いをしている光景があまり見られない為、職員が入居者の出来ることを探し積極的に手伝いをしてもらえるよう努める。
		57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	お酒の好きな入居者は毎日晚酌をされており、現在でも個人個人に合わせて日常生活が楽しめるように支援している。	1	本人が好きなものを家族が持参した時は、本人が希望するときに食べている。しかし認知症がある為忘れられる事がある。また、本人に管理してもらうと糖尿病の利用者にお菓子をあげたりする為、どのように対応するか今後検討が必要である。
		58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	個人個人に合わせて定期的に排泄の声かけ誘導、介助を行っている。また、なるべくオムツを着けなくて良いように個人の間隔に合わせ排泄介助を行い失禁の防止に努めている。	1	排泄介助時にはなるべく本人の自力で行ってもらい出来ない所だけをお手伝いするように心がけている。
		59 外部評価 26	入浴を楽しむことができる支援【外部評価】 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日の基本は決めているが本人の入りたい時や入りたくない時に合わせて入浴できるようにしている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいき きたい 項目	取り組んでいき たい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	入居者一人一人の生活習慣に合わせ、無理に起こす事はしていない。また、昼夜逆転が見られる入居者に対しても日中無理に起こしておくのではなく、いかに楽しんで起きてもらえるのか取り組んでいる。	0	
		(3)	その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 (自己 61~66・外部 27~28)	自己評価6項目・外部評価2項目	0	
		61 外部評価 27	役割、楽しみごと、気晴らしの支援【外部評価】 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	編み物や歌、テレビ観戦、散歩などを取り入れ本人に合った支援を行っている。また、積極的に家事のお手伝いもしてもらっている。	0	
		62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	入居者の金銭管理は苑で行っているが、入居者にはよってはお金を渡しており職員がお金の確認を行っている。また、買物に行った際は自分で払う事が出来る入居者には自分で会計をしてもらっている。	0	
		63 外部評価 28	日常的な外出支援【外部評価】 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	苑外に出る機会を作っており、雨天時以外は1日1回必ず散歩や日光浴の声かけを行っている。また、必要に応じて買物等にも一緒に出かけている。	0	
		64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	季節ごとに花見や紅葉、コスモスなど春と秋には外出している。また、入居者にゆっくりと楽しんでもらう為に1回の外出に5~6人程度を目安とし安全で安心した外出を行っている。	0	
65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族へ訴えかけ、いつでも本人が電話出来るよう支援している。また手紙を渡すなど個別の対応を行っている。	0			

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	家族や友人が見えた時にはお部屋でゆっくり会話出来る環境作りを心がけている。また、入居者が寂しそうな時は職員から家族へ面会をお願いをする事もある。	0		
		(4) 安心と安全を支える支援(自己 67~74・外部 29~30)			自己評価8項目・外部評価2項目	2	
		67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束委員会を設置し、委員を中心に職員一同身体拘束を無くすよう取り組んでいる。	1	どのような事が拘束になるのか職員への指導も徹底して行きたい。	
		68	鍵をかけないケアの実践【外部評価】 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関の鍵をかけない様に取り組んでいる。入居者が外に出たいときは職員も同行し思うままに歩き、会話や景色を楽しんでいる。また居室の鍵を職員が勝手にかけることは行っていない。	0		
		69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	定期的に入居者の所在の確認を行っており安全に配慮している。	0		
		70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を 律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	夜間帯のみ洗剤や漂白剤等を棚に片付けるようにしている。また、個人個人に合わせて危険か危険でないか確認して対応している。	0		
		71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	定期的防火訓練を行っている。また、ヒヤリ・ハット報告書を作成し未然に事故を防ぐよう取り組んでいる。防火管理者や応急救護の研修にも積極的に参加している。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	研修に積極的に参加しており、苑でも急変時に迅速な対応が出来るよう訓練を行っている。	1	新人職員にも積極的に応急救護の指導を行っていく。
		73 外部評価 30	災害対策【外部評価】 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に2回夜間想定も含めた避難訓練を隣の施設と合同で実施している。その際には民生委員や近隣の住民、職員がいつでも駆けつけてもらえるよう協力体制が出来ている。	0	
		74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	入居時や面会時に起こりえるリスクについて説明を行っており、リスクを恐れ拘束するのではなく本人にとって何が一番大事な事を話し合っている。	0	
		(5)	その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 (自己 75~81・外部 31)	自己評価7項目・外部評価1項目	1	
		75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日入居者の血圧、体温、顔色をよく観察し異常があれば速やかに職員及び関係職種に連絡し情報の共有に努めている。	0	
		76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員が常に確認できるように個人ファイルに薬の作用、副作用を記入した紙を閉じている。また、用法用量もしっかりと確認し服薬支援に努めている。	0	
		77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	毎日の食事に野菜を多く取り入れたり水分量をチェックし水分補給に努めている。また、お腹の体操や散歩などを行い便秘の予防に努めている。	1	毎日排便のチェックを行い排便-3日目より看護職やDrに報告している。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、洗面誘導・介助を行っている。入居者一人一人に合わせて残存機能を活かした支援が行えるよう心掛けている。	0	
		79	栄養摂取や水分確保の支援【外部評価】 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士が作ったカロリー計算書等を参考に調理士の資格を持った職員が献立を立てている。また、食事は常に野菜を多く取り入れる工夫を行っており毎食後食事摂取量を個人記録に残している。水分量については毎日各利用者の水分量を記録し水分の確保に努めている。	0	
		80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	毎年家族了解のもとインフルエンザの予防接種を行っている。また、食事前の手洗いを徹底している。食中毒にも注意し新鮮な物をしっかりと加熱処理するよう心掛けている。	0	
		81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	頻繁に買物に行き、なるべく新鮮な食材を使用している。また、台所にアルコールスプレーを常備しており衛生管理、食中毒の予防に努めている。	0	
	2	その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)~(2) (自己 82~89・外部 32~33)		自己評価 8 項目・外部評価 2 項目	1	
	2	(1) 居心地のよい環境づくり(自己 82~86・外部 32~33)		自己評価 5 項目・外部評価 2 項目	0	
	2 生活環境づくり その人らしい暮らしを支える	82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関周りに花を植え、親しみやすい雰囲気を出している。また、建物が通りに面しているため近隣の人々と挨拶しやすくなっている。	0	
		83	居心地のよい共用空間づくり【外部評価】 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	建物全体が家庭的な雰囲気でも落ち着いた環境となっている。玄関にはさりげなく花が飾られ、ホーム全体の採光のバランスも考慮され自然の光が入り明るく心地よいものとなっている。廊下やトイレ、居室等掃除が行き届き清潔感がある。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	エレベーター前にソファを設置し仲の良い入居者が一緒にお話し出来る空間を作っている。また、食堂には自分の場所があり一人でゆっくりとテレビ等を観て過ごすことができる。	0		
		85	居心地よく過ごせる居室の配慮【外部評価】 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ベットとクローゼットは苑で準備しているがその他の家具や使い慣れた物、思い出の品などは家族協力のもと持参してもらい、環境の変化を少なくする工夫がされている。	0		
		86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	頻繁に換気を行っており施設特有の臭いは全くしない。また、入居者本位の立場で温度調節を行っており、エアコンで体の調子を崩さないように常時適温を心がけている。	0		
		(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり(自己 87~89)			自己評価3項目	1	
		87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	苑全体がバリアフリーとなっており廊下などに余分な物を置かないようにしている。また、なるべく車椅子などを使用せず自立した歩行を促している。	1	当苑は歩行不安定な入居者でも歩けるのなら自立歩行を促している。そのため転倒の危険性が多いと考えられ今以上の徹底した見守りを行っていきたい。	
		88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	担当者会議を行い入居者一人一人の力を十分に活かせるようなケアプラン作りを行っている。また、そのケアプランをもと職員や関係職種と協力し介護にあたっている。	0		
		89	建物の外周リや空間の活用 建物の外周リやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	裏庭にベンチを設置し日向ぼっこが出来る様になっている。また、入居者と一緒にお花を育てたりしている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当番号	
サービスの成果に関する項目	90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない	2		
	91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	1		
	92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない	2		
	98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	2		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目		99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	2	
		100	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	1	
		101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1	
		102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族と 家族等の2/3くらいと 家族等の1/3くらいと ほとんどできていない	2	
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当番号	

サービスの成果に関する項目の該当番号は、選択肢の該当番号を示します。

番号の上位は自己評価の項目番号を指します。外部評価項目は、番号欄に網掛けをして外部評価と表示し、外部評価の項目番号を下に表記しています。

項目の横の重点は、外部評価の調査結果で重点項目として概要表に記載される項目です。

また追加は、福岡県が国の参考例に自己評価から外部評価に加えたり、新たに自己評価も含めて独自に追加した項目などです。